

建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
業 況	18.6	9.3	9.3	-11.7
売上額	27.9	18.6	2.3	-34.8
収 益	25.6	9.3	-4.7	-27.9

今期の業況判断 D. I. は 9.3 で、前期と同水準となり、前年(△4.6)比では 13.9 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は高い順に、広尾が最も高く、浦河、えりも、静内・様似が同率で続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、2.3 で、前期比 16.3 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△4.7 で、前期比 14.0 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
請負価格	18.6	4.5	9.3	-9.3
仕入価格	18.7	39.5	37.3	18.6

請負価格判断 D. I. は 9.3 で、前期比 4.8 ポイント上昇、前年(9.4)比 0.1 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 37.3 で、前期比 2.2 ポイント下降、前年(35.0)比 2.3 ポイントの上昇となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
残業時間	-2.3	9.3	2.3	-7.0
人手状況	-27.9	-37.2	-30.3	-14.0

残業時間判断 D. I. は 2.3 と前期比 7.0 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△30.3 と、前期比 6.9 ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期(4.7)比4.7ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は16.3で、前期(25.6)比9.3ポイント下降した。設備投資は、前期11社に対し、7社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「利幅縮小」16.7%が最も多く、次に「人手不足」13.9%、「売上停滞減少」13.0%、「同業者競合」・「材料価格上昇」11.1%、「下請確保難」9.3%、「人件費増加」6.5%、「地場産業衰退」5.6%となっている。

重点経営施策では、「人材確保」51.2%が最も多く、次に「経費節減」48.8%、「技術力強化」34.9%、「販路拡大」30.2%、「情報力強化」23.3%、「労働条件改善」11.6%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は Δ 11.7と、今期比21.0ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は Δ 34.8と、今期比37.1ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は Δ 27.9と、今期比23.2ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は Δ 9.3と、今期比18.6ポイントの下降を見通している。

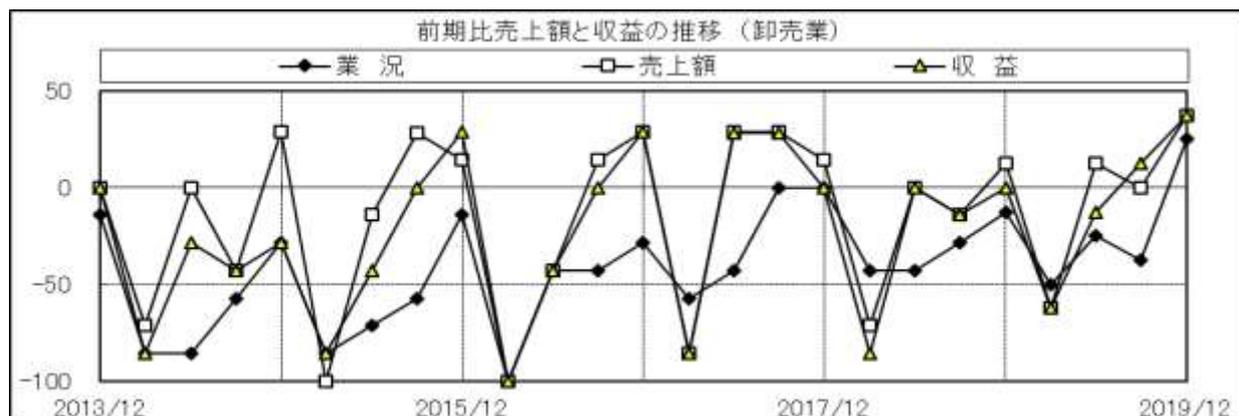
予想仕入価格判断D. I. は18.6と、今期比18.7ポイントの下降を見通している。

卸売業 8企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景況

DI 値の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-25.0	-37.5	25.0	-37.5
売上額	12.5	0.0	37.5	-75.0
収益	-12.5	12.5	37.5	-75.0

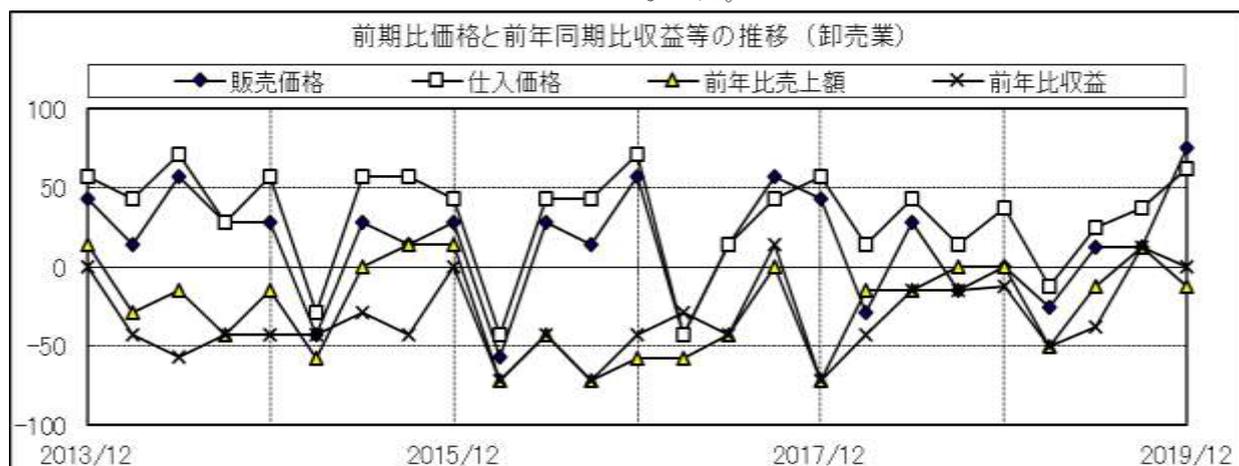
今期の業況判断 D. I. は 25.0 で、前期比 62.5 ポイント上昇、前年(△12.5)比 37.5 ポイント上昇した。地区別の水準は、静内・様似地区は上昇、浦河地区は上昇となった。売上額判断 D. I. は 37.5 で、前期比 37.5 ポイント上昇。収益判断 D. I. は 37.5 で、前期比 25.0 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	12.5	12.5	75.0	0.0
仕入価格	25.0	37.5	62.5	-12.5

販売価格判断 D. I. は 75.0 で、前期比 62.5 ポイント上昇、前年(0.0)比 75.0 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 62.5 で、前期比 25.0 ポイント上昇、前年(37.5)比 25.0 ポイント上昇した。業種別では、水産業は、販売、仕入価格ともに上昇。食品業は、販売が上昇、仕入は横ばいとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	0.0	-25.0
人手状況	-25.0	-12.5	-37.5	0.0

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、残業時間に変化はなかった。

人手過不足判断 D. I. は △37.5 で前期比 25.0 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

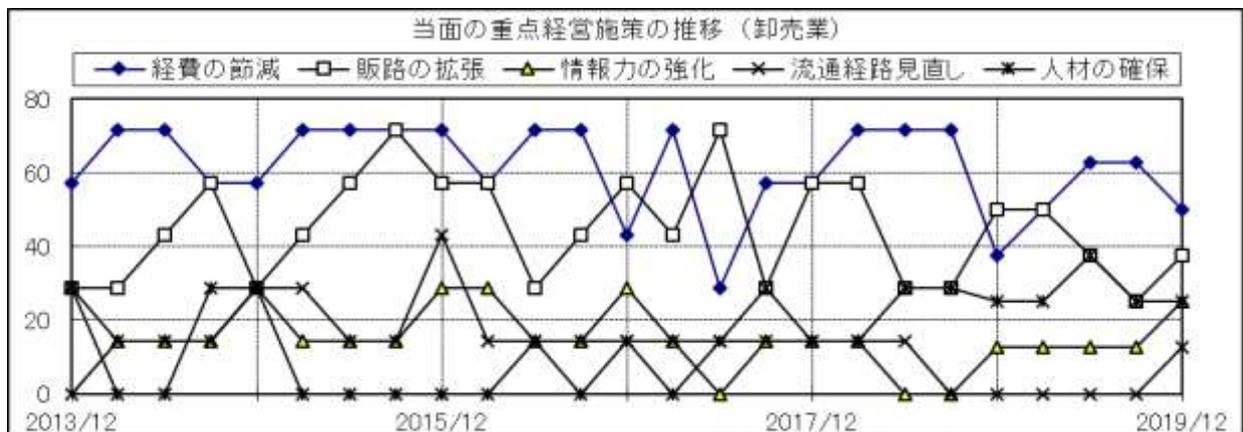
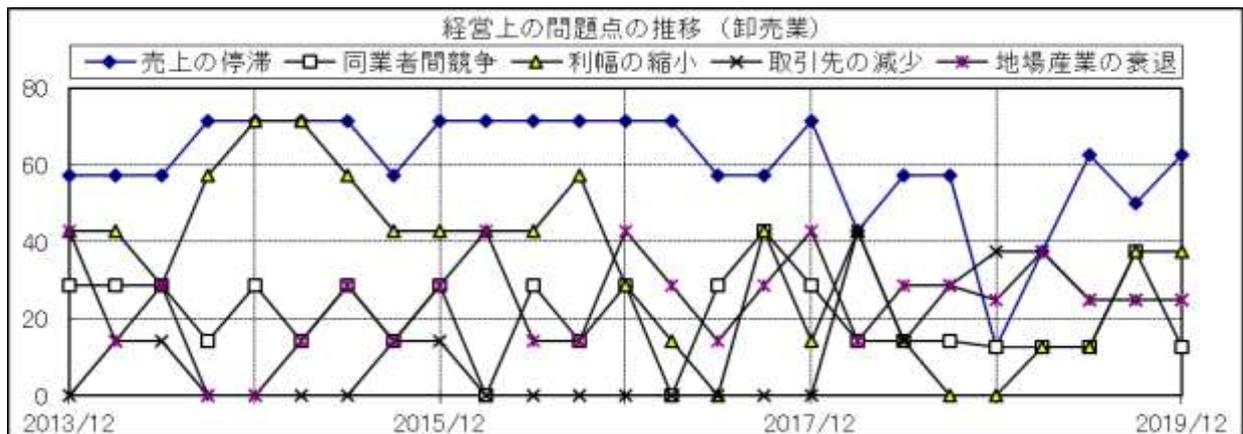
設備投資の充足感を示すD. I. は△25.0で、前期(12.5)比37.5ポイント下降した。

設備実施企業割合は25.0で、前期と同水準となった。設備投資は、前期2社に対し、実施企業は2社。来期の設備投資予定は0社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が62.5%と最も多く、次に「利幅縮小」・「店舗老朽化」が37.5%、「値上要請」・「取引先減少」・「地場産業衰退」が25.0%、「同業者競合」・「輸入製品競合」・「販売商品不足」・「代金回収悪化」・「天候不順」が12.5%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が50.0%と最も多く、「販路拡大」37.5%、「情報力強化」・「人材確保」が25.0%、「品揃えの充実」・「新事業開始」・「流通経路見直し」・「輸入品取扱増」・「不動産有効活用」が12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△37.5と、今期比62.5ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△75.0と、今期比112.5ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△75.0と、今期比112.5ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は0.0と、今期比75.0ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は△12.5と、今期比75.0ポイントの下降を見通している。